

1 題材名

『戦争で燃えた千葉のまち』 —空襲の標的になった軍都・千葉—
～千葉市中心部・中央区・稲毛区周辺の地域学習として～

2 授業のねらい

- ①「千葉空襲」について被害状況や証言を用いて知らせて、その現実を意識させたいです。
- ②「どうして空襲があったのか？」という発問から、千葉市はかつて「軍都」と呼ばれた時期があったこと、またその謂れとなった施設が多く存在したことを学ぶ、千葉市中心部および中央区・稲毛区を意識した地域学習です。
- ③自宅付近や学区内が軍関連施設として使用されていたのに、そうした認識がない、もしくは全く知らないまま過ごしている場合もあります。学習によって知見を広げられたら良いです。
- ④単なる「紹介」と「解説」のみではなく、「どうして千葉市に？」を考え、さらに施設跡が現在はどうなっているかを見て、自分たちの住む町（街）への興味・関心を高めます。

3 学習指導要領の項目、指導計画上の位置付け

◇総合的な学習において、それぞれの目標へ向けた学習の一助としての地域学習

◇1時間扱い

- ◇1年生 学区探検、地域訪問などの事前学習として
- 2年生 校外学習へのとりかかり、下準備として
- 3年生 修学旅行先での学習へ向けた予備知識として

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①千葉空襲の被害の状況を写真や資料、さらに当時の証言等を通して知るとともに、空襲があったという現実について考えます。
- ②「なぜ千葉は空襲されたのだろうか？」という発問の答えを考え（予想）します。
＜小グループで討議を行い、まとまったら考えを発表＞
- ③②の答えを受けながら、当時市内にあった軍関連施設を場所がわかる地図や写真資料等で紹介しながら「ここは何だろう？」と投げかけて確認します。
- ④そうした施設が千葉にあった（来た）のは「実は千葉市民が望んだことでもあった」という事実を伝え、その理由を考え（予想）します。＜小グループで討議を行い、まとまったら考えを発表＞
- ⑤軍関連施設が現在どうなって、何に利用されているのかを資料で調べます。現在及び将来のために開発され、平和利用されていることを理解します。
- ⑥「平和都市宣言」の文章を全員で読んで、内容を確認します。

＜活用するおもな資料＞

- ◎『軍都千葉と千葉空襲』当館特別展図録
- ◎『史料で学ぶ千葉市の今むかし』千葉市歴史読本
- ◎『伸び行く千葉市』千葉市教育委員会
- ◎写真資料、解説パネル など

5 指導上の留意点、その他

- ◇学校周辺の軍関連施設（跡）を調査した記録等があれば、ぜひ参考にさせていただきます。
- ◇「軍関連施設があった」で終わらせず「今どう生かされているか？」まで考えさせたいです。
- ◇ご家族や近隣の方などから、関連する話を事前に話を聞いておくよう生徒にお伝えいただくのも良いと思われます。